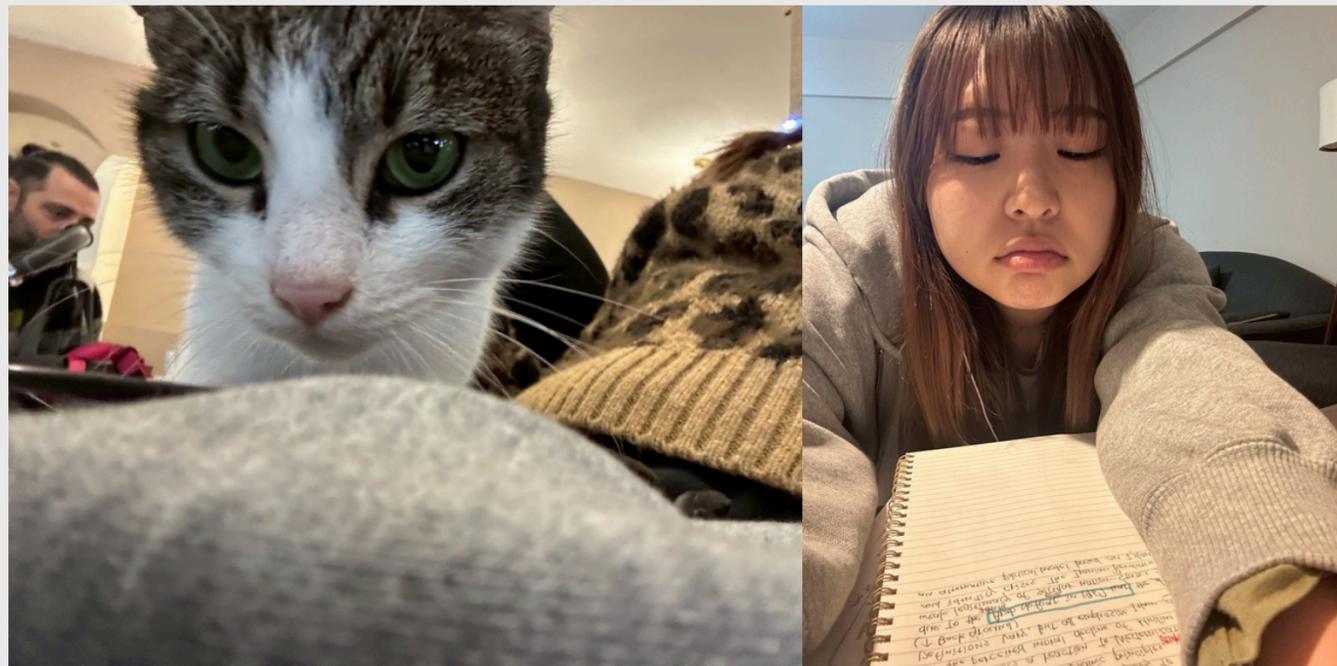


January

今月はテスト、イギリス旅行、別れの3点盛りでいつも通り濃かったです。

上旬はテスト勉強の日々でした。私の科目が、テスト期間の最終日の夕方まであり、みんなが解放されていくところ眺めながら集中するのは難しかったです。4科目中2科目は、テスト期間前に、最終テストや課題は終わっていたので、残りのInternational SecurityとMiddle Eastern Politicsを勉強しました。前者はスライドの語彙が専門的なものが多く、苦戦しました。同義語で理解しやすい単語に置き換えて、内容を落とし込んだり、ルームメイトに助けってもらったりして対策しました。後者もまた、中東の国々と事象とで混乱三昧だったので、映像資料をフル活用して流れをつかみました。



↑カフェで勉強していたら応援（邪魔？）してくれたにゃんこ

そして、テストが終わると同時にイギリスへ飛びました。同じ文芸大から留学した友達と行きました。最近特に仲良しになれて楽しいです。着くや否や、この地には豚肉があるということで、探しにいきました。トルコにはイスラム教の方が多く、食べるのが禁じられているので、9月からずっと食べれていませんでした。その反動が急にきて、イギリスではほぼ毎食豚肉を確保していました。なので勿論イギリス一食目は、ザ・豚の、豚骨ラーメンを食べました。感動で沁みました。豚によって、体に必要な何かしらの栄養素が満たされた気がして元気が出ました。また、豚に留まらずアジアの味付けにも飢えていたようで、チャイナタウンでランチしたり、ホットタピオカを3回も飲んだりしました。つまり、食に関しては完全にアジアライフを送っていました。高価なので、フィッシュアンドチップスすら食べていません（笑）



Izmir Economic University

ただ、イギリスは物価が高いものの、主な観光地はなんと、ほとんど入場無料なのです！大英博物館、ナショナルギャラリー、V&A、自然史博物館など余すことなく巡りました。

特に、自然史博物館は建築が素晴らしかったです。柱が何十本もあり、それぞれに繊細な模様や複雑な作りとなっていました。また、天井の絵も一ピースごとに絵や模様が描かれており、しばらく立ち止まって建物の造りだけに集中して鑑賞してしまうほどでした。



ナショナルギャラリーでは、Clothing Historyの講義で習ったヤン・ファン・エイクの『アルノフィー二夫妻の肖像』を生で見ることができました！



私の大好きなワンダイレクションが、イギリスのアーティストなので聖地巡礼をしてきました♡ MVに『One thing』に登場する風景だったり、アルバムのジャケットに使用された、実物の赤の電話ボックスと写真を撮りました。しっかり、セシャツとトートバッグもゲットしました！日本では入手困難なので本当に嬉しかったです。ホテルでもワンダイレクションや、ピーターパンの飛ぶシーンの曲を流したりして全時間イギリスバイブスを堪能しました。オックスフォード大学だけ行けなかったのが人生のどこかで再チャレンジしたいです。

Izmir Economic University

イギリスから帰ると今度は、みんなとのさようならです。今まで仲良くしてくれた子たちと会ったり、ルームメイトとプレゼント交換したり、留学生たち皆で会ったりしました。泣けちゃう子もいました。私はみんなと離れる実感が中々当時湧かなくて、悲しいけれど、割と元気にさよならしました。その後イスタンブールで5日間ほとんどソロ旅行して帰国しました。

この約5か月本当にいろいろなことがありました。先月お話しした熱や、イカメット、若干の差別、、電気・ガス・水が止まるなど日本では中々経験しない辛いこともありました。ただそのリターンが物凄かったです。家族のような安心感を抱けるルームメイトに出会えたこと、様々な人種や文化を持つ素敵な友達ができたと、それらの人々から全く新しいアイデアや考えを知ることができたこと、自分の英語の伸びを日常会話で実感できること、数え切れません。

これらの経験ができたのは家族や大学の方々がいたからで、留学に行けたことを本当に感謝しています。帰っても英語のスキルを落とすことが無いよう、勉強していきます。

